

「2022年度『SDGs実践計画』」の策定について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、2022年3月に公表した「サステナビリティ推進管理方針」に基づき、適切かつ十分なサステナビリティ推進を行う観点から「2022年度『SDGs実践計画』」を策定いたしました。また、関連する項目にかかる2021年度から2030年度までのKPIについて、2021年度の実績を、お知らせいたします。

当行は、これからも地域の未来を創造し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「2022年度『SDGs実践計画』」（太字は新規施策）

（1）地域経済の活性化

- A. お取引先に対するSDGsの実践支援
- B. 創業・スタートアップ企業の成長支援
- C. 地域経済エコシステムの構築
- D. 新事業・新分野の開拓
- E. 地域との交流を通じた社会貢献
- F. 非対面チャネル等を通じた金融サービスの利便性向上
- G. 金融サービスへのアクセス機会の拡充**

（2）地球温暖化・気候変動への対応

- A. 環境保全・気候変動への取組み
- B. 環境・社会への配慮を要する事業者等への対応
- C. お取引先の災害対策支援
- D. 環境・社会分野への投融資拡充

（3）一人ひとりの活躍支援

- A. 挑戦的な企業文化の確立に向けた人事制度の見直し
- B. 人材の有効活用による組織活性化と生産性の向上**
- C. 価値観の多様化に応じた柔軟な働き方の導入
- D. ダイバーシティ&インクルージョン意識の啓蒙と浸透
- E. 人的資本や知的財産への投資



(4) ガバナンスの高度化

- A. T C F D 提言に即した行内態勢の構築
- B. 行内における S D G s 取組意識の向上
- C. サステナビリティを巡る課題への対応に対する取締役会の積極的な関与
- D. 法令等遵守態勢の強化
- E. 反社会的勢力への対応態勢の強化
- F. マネー・ローンドリング等防止態勢の強化
- G. **サイバーリスク管理態勢の強化**

2. K P I の達成状況

(1) 地域経済の活性化

項目	目標	実績
創業期の事業者に対する成長支援件数	3,000件 ('30年度)	1,490件
新事業・新分野のプロジェクト立上げ件数	10件 ('23年度まで累計)	1件
宮城県の経済成長率向上を支援	国の成長率+0.1pt	—
金融教育提供者数	70,000名 (累計)	8,364名
S D G s に関するセミナー開催回数 ／参加人数	100回/5,000名 (累計)	5回/484名

(2) 地球温暖化・気候変動への対応

項目	目標	実績
サステナブルファイナンス累計実行額 (注1)	1.2兆円	2,740億円
C O 2 排出量 (2013年度比)	46.0%削減	27.3%削減 (注2)

注1：地域活性化や持続可能な社会の実現に資する投融資の累計実行額（環境、医療、創業・事業承継等 S D G s への取組支援・促進にかかる投融資）

注2：2021年3月末時点実績

(3) 一人ひとりの活躍支援

項目	目標	実績
管理職に占める女性の割合	30.0%	14.2%

※「2022年度『S D G s 実践計画』」については、当行ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス：https://www.77bank.co.jp/sustainability/sdgs_plan.html

以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



S D G s (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのS D G s 宣言 ～ もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、S D G s に対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「S D G s 実践計画」を策定しました。